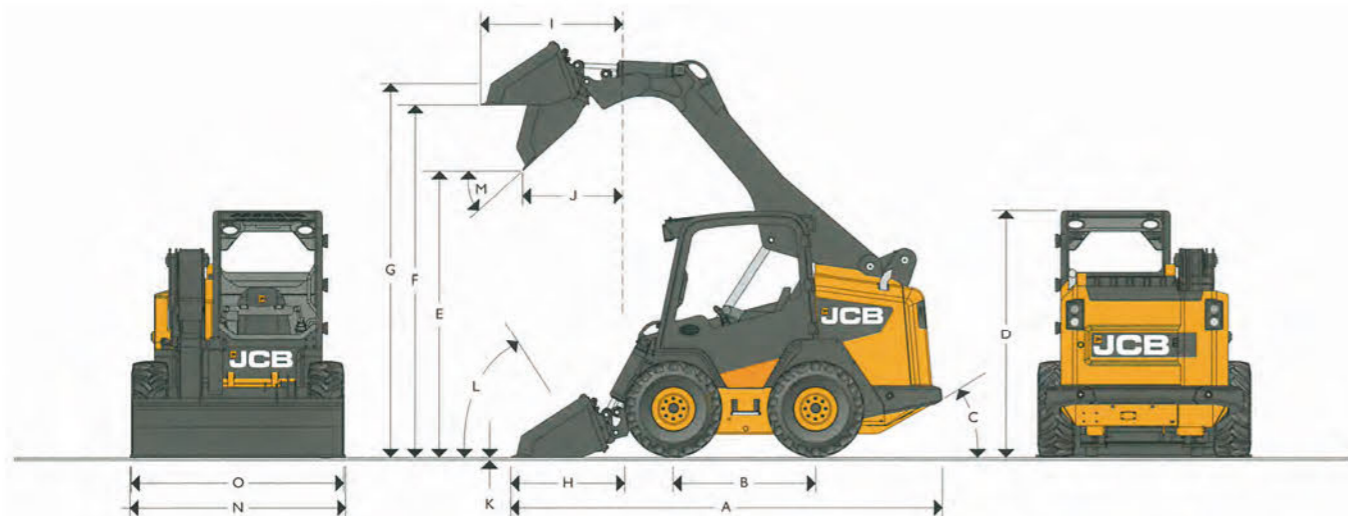


〈諸元表〉

SPECIFICATIONS



〈寸法〉 155 / 190 / 225

モデル	155	190	225
A 全長	3.49	3.56	3.69
B ホイールベース	1.07	1.07	1.22
C リアアングル角	25°	25°	28.7°
D 全高	1.98	1.98	2.09
E 最大バケット高(ダンプ時)	2.26	2.26	2.46
F " (水平時)	2.84	2.84	3.02
G " (ロールバック時)	3.00	3.00	3.175
H リーチ幅(グラウンド時)	1.00	1.00	0.98
I " (最大持ち揚げ時)	0.91	0.99	0.96
J " (最大持ち揚げ時、ダンプ時)	0.56	0.86	0.54
K 掘深さクリアランス(mm)	-10	-10	-10

モデル	155	190	225
L ロールバック角(すくい角)	30°	30°	30°
M ダンプ角	42°	42°	42°
N バケット幅(標準)	1.68	1.83	1.99
" (オプション)	—	—	—
O タイヤ幅(外外、標準)	1.60	1.60	1.82
" (" 、オプション)	—	—	—
バケット容量(標準)	0.40	0.44	0.47
最小半径			
バケットの角	2.09	2.09	2.20
クイックヒッチ	1.10	1.14	1.48
リヤシャシー	1.65	1.65	1.76
P 地上高	210	210	238

	155	190	225
車体総重量(kg)	2,844	3,127	3,469
エンジン型式	404 D-22T	404 D-22T	JCBディーゼルマックス TC-55
最大出力(HP)	59.9	59.9	74
最大トルク(lb)	139	139	241
常用荷重(kg)	703	862	1,021
ティッピングロード(kg)	1,406	1,723	2,226
油圧流量(L/分)	70	70	87
シングルスピード(km/h)	12	12	10.9

●標準装備 ▲オプション装備 ×設定なし

	155	190	225
キャノピー	●	●	●
ヒーター付キャビン	▲	▲	▲
エアコン・ヒーター付キャビン	▲	▲	▲
油圧ハイフロー(7ウェイジョイスティック含む)	▲	▲	▲
パラレルリフト(上昇時のみ平行リンク)	▲	▲	▲
フットスロットル	▲	▲	▲
2スピードコントロール	▲	▲	▲
油圧ワンタッチ	▲	▲	▲
道路走行用ライト類	▲	▲	▲
アンテナ・スピーカーキット	▲	▲	▲
スムーズライドシステム	▲	▲	▲
タイヤサイズ	10×16.5	10×16.5	12×16.5

JCB スキッドステアローダー

ROBOT

ロボット

155
190
225



JCB

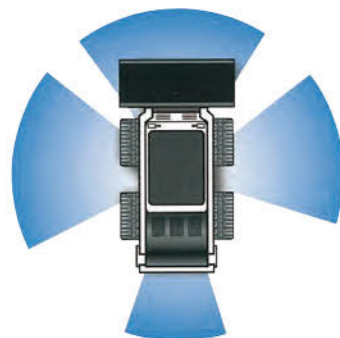
スキッドステアローダー

ROBOT

ロボットは、ココが違う!!

270度の視界!

通常のスキッドステアローダー
165度の視界



JCBロボット
270度の視界



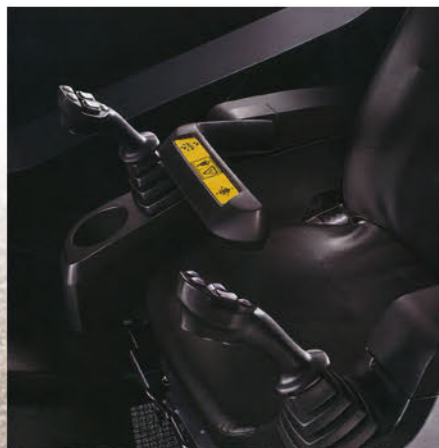
- JCB ロボットの視界は270度。通常のスキッドステアに比べ、圧倒的に死角が少なくなっています。JCB 独自のパワーブームは、左側の視界をブームアームにより遮ることがありません。
- パワーブームと後方確認ミラーの採用により、すぐれた後方視界が確保されています。
- キャビン仕様では、ラミネート保護のガラスを採用。金属のメッシュがありません。また、キャノピー仕様ではハーフトアーを採用。広い視界を確保しています。

乗り降りらくらく!

- 運転席の左側にブームアームが無いJCB独自のパワーブームの採用により、左側から乗用車のようにらくらく乗り降りができます。危険なアタッチメントを乗り越え狭いフロントウインドウから乗り降りする必要がありません。
- ロボットのドアサイズは通常のスキッドステアの約2倍。従来のロボットと比べても40%広さがアップしています。



操作らくらく・室内ひろびろ!



- 室内は圧倒的広さ。
- 人間工学に基づいた操作レバー、各スイッチ類は、確実・安全な操作をオペレーターに約束します。
- キャビン仕様の室内の騒音レベルは76デシベル。通常のスキッドステアと比較して、約半分のレベルです。
- ジョイスティックが標準装備のROBOTは、足元の操作から解放され、初めて運転したその日から戸惑うことなく作業が出来ます。

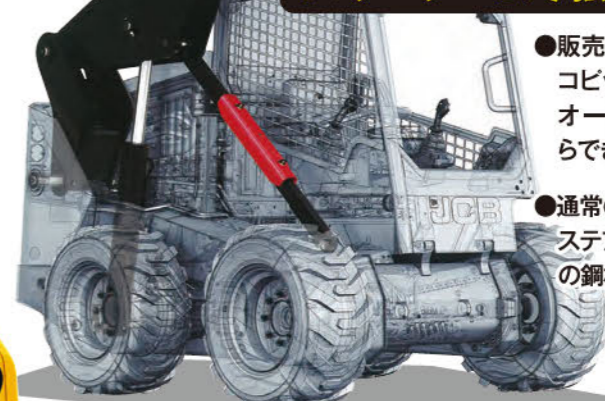


豊富なアタッチメント!

- 世界有数の建機メーカーのJCBが誇る、豊富なアタッチメント。詳しくはお問合わせ下さい。



パワーブームで強力・安全作業!



- 販売台数世界 NO.1 テレスコピックハンドラー “ロードオール” を持つ JCB だけからできた “パワーブーム”。
- 通常の2本アームのスキッドステアに比べ、20%以上多くの鋼材を使用しています。

イージーメンテナンス!



- キャビン全体が前方に傾きます。整備性が格段とアップしました。
- 広く大きく開くリアドア。ラジエーターをエンジンの上に設置。吐き出し方式を採用しているため埃の多い所でも目づまりを起こしにくくなりました。
- 従来の機種に比べ、部品数を38%減らしました。整備時間の短縮が図れます。

スムーズライドでこぼれ少なく! (オプション)

- オプションのスムーズライドはでこぼこな地面でもアームはほぼ水平を保ちます。



お問い合わせは

